

# 第10章 居住期間

## 1 年齢、男女別の居住期間

### 出生時から引き続き現住居に住んでいる人は7.8%

居住期間別の割合をみると、出生時から引き続き現住居に住んでいる人は7.8%、出生時の住居とは異なる場所に移動したことがある人（以下「移動者」という。）は84.0%となっています。

「移動者」について居住期間別にみると、「20年以上」が23.4%と最も高く、次いで「1年以上5年未満」が18.7%、「10年以上20年未満」が18.6%、「5年以上10年未満」が16.8%となっています。

これを年齢階級別にみると、0～4歳では「出生時から」が59.8%、「移動者」が33.3%であるのが、5～9歳ではそれぞれ28.3%、65.9%と比率が逆転しています。20～24歳からは「出生時から」は10%を下回り、35～39歳まで5年未満の割合が30%を超えています。また、「20年以上」の割合が30%を超えるのは、男女とも55歳以上となっています。（図10-1、表10-1）

図10-1 居住期間、年齢（5歳階級）別人口の割合（平成22年）

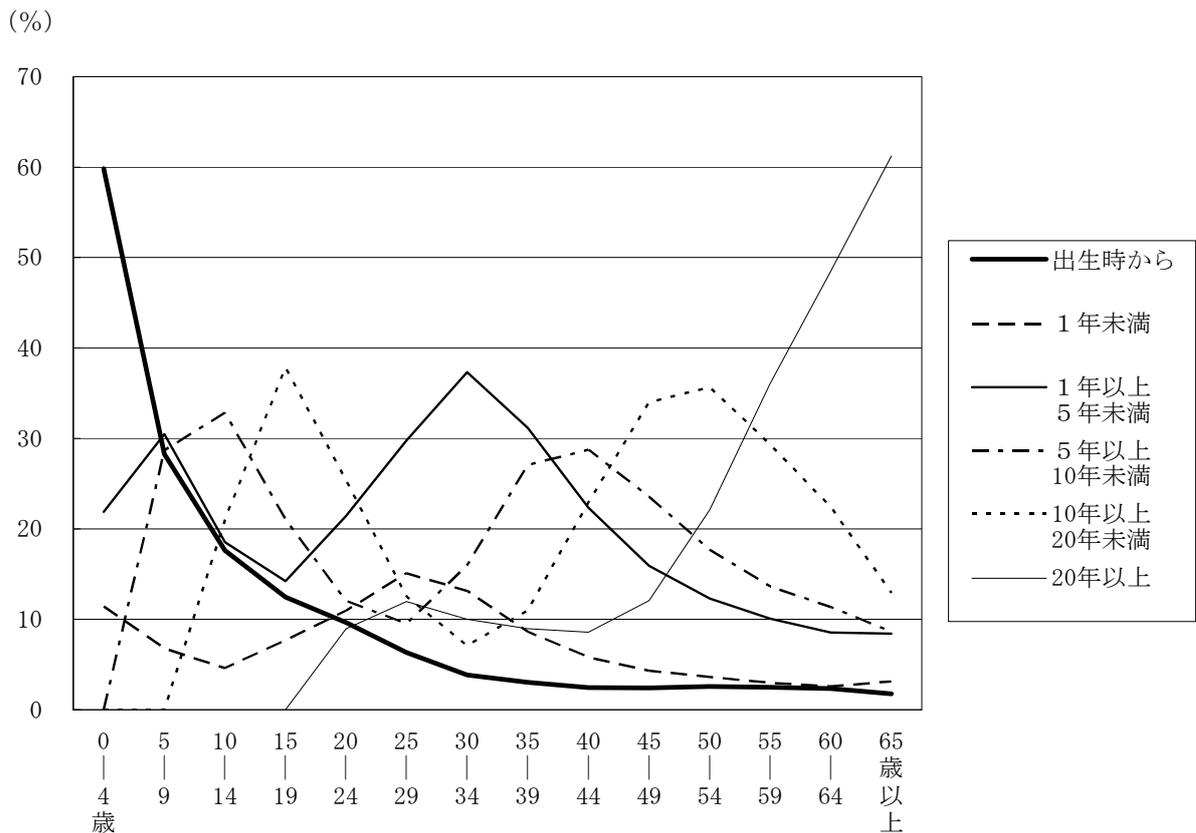


表 10-1 居住期間、年齢（5歳階級）、男女別人口の割合（平成 22 年）

(単位：%)

男女、年齢	総数 1)	出生時から	移動者の現住所での居住期間					
			移動者 総数	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
総数	100.0	7.8	84.0	6.5	18.7	16.8	18.6	23.4
0～4歳	100.0	59.8	33.3	11.4	21.9	-	-	-
5～9	100.0	28.3	65.9	6.8	30.5	28.7	-	-
10～14	100.0	17.6	76.9	4.6	18.5	32.8	21.0	-
15～19	100.0	12.4	80.7	7.7	14.2	21.0	37.8	-
20～24	100.0	9.7	78.7	10.9	21.4	12.0	25.4	8.9
25～29	100.0	6.3	78.9	15.1	29.8	9.5	12.5	12.0
30～34	100.0	3.8	83.5	13.2	37.3	16.0	7.1	10.0
35～39	100.0	3.0	86.8	8.6	31.2	27.1	11.0	9.0
40～44	100.0	2.4	88.4	5.8	22.3	28.8	22.9	8.6
45～49	100.0	2.4	89.8	4.3	15.9	23.6	34.0	12.0
50～54	100.0	2.6	91.4	3.6	12.3	17.7	35.7	22.1
55～59	100.0	2.5	92.1	3.0	10.1	13.6	29.3	36.1
60～64	100.0	2.3	93.3	2.6	8.6	11.3	22.4	48.5
65歳以上	100.0	1.8	94.3	3.1	8.4	8.6	12.9	61.2
男	100.0	8.5	81.6	6.6	18.8	16.6	18.1	21.5
0～4歳	100.0	59.8	33.3	11.4	21.8	-	-	-
5～9	100.0	28.2	66.1	6.7	30.7	28.6	-	-
10～14	100.0	17.7	76.7	4.6	18.2	32.8	21.0	-
15～19	100.0	12.2	80.3	8.3	14.3	20.7	37.0	-
20～24	100.0	9.3	77.2	10.6	21.9	11.7	24.4	8.7
25～29	100.0	6.3	75.8	14.5	28.3	9.0	12.1	12.0
30～34	100.0	4.3	80.3	12.7	35.3	14.3	7.2	10.8
35～39	100.0	3.6	83.9	8.8	30.6	24.7	9.6	10.2
40～44	100.0	3.0	85.9	6.1	22.8	27.8	19.4	9.7
45～49	100.0	3.1	87.4	4.8	16.9	23.7	30.6	11.3
50～54	100.0	3.5	88.9	4.1	13.2	18.4	35.0	18.3
55～59	100.0	3.6	89.5	3.4	11.0	14.1	30.0	30.9
60～64	100.0	3.4	91.0	2.9	9.4	11.7	23.5	43.5
65歳以上	100.0	2.8	92.7	2.7	7.3	8.3	13.2	61.2
女	100.0	7.1	86.4	6.4	18.6	17.1	19.1	25.3
0～4歳	100.0	59.9	33.3	11.4	21.9	-	-	-
5～9	100.0	28.3	65.8	6.8	30.3	28.7	-	-
10～14	100.0	17.5	77.1	4.6	18.8	32.9	20.9	-
15～19	100.0	12.7	81.1	7.0	14.1	21.4	38.7	-
20～24	100.0	10.1	80.3	11.3	20.8	12.5	26.5	9.2
25～29	100.0	6.4	82.1	15.8	31.4	10.1	13.0	11.9
30～34	100.0	3.4	87.0	13.6	39.4	17.8	7.0	9.2
35～39	100.0	2.4	89.8	8.4	31.8	29.6	12.4	7.6
40～44	100.0	1.8	91.1	5.4	21.8	29.8	26.7	7.4
45～49	100.0	1.7	92.5	3.8	14.8	23.3	37.7	12.8
50～54	100.0	1.6	93.9	3.1	11.3	17.0	36.4	26.1
55～59	100.0	1.4	94.7	2.5	9.1	13.2	28.6	41.3
60～64	100.0	1.2	95.6	2.2	7.7	11.0	21.3	53.3
65歳以上	100.0	0.9	95.6	3.5	9.4	8.9	12.6	61.3

1) 居住期間「不詳」を含む。

## 2 就業者の居住期間

### 就業者の3人に1人は居住期間が5年未満

15歳以上就業者について居住期間別割合をみると、「出生時から」が4.1%、「1年未満」が7.6%、「1年以上5年未満」が22.1%、「5年以上10年未満」が19.3%、「10年以上20年未満」が23.4%、「20年以上」が21.9%となっており、「1年未満」と「1年以上5年未満」を合わせた5年未満は29.7%と約3人に1人の割合となっています。

居住期間別割合を産業別にみると、5年未満は「鉱業、採石業、砂利採取業」(43.2%)、「情報通信業」(40.5%)、「製造業」(32.7%)、「学術研究、専門・技術サービス業」(32.6%)などの産業で高くなっています。一方、第1次産業に属する「農業、林業」及び「漁業」では、「出生時から」と「20年以上」を合わせた割合が約7割となっており、他の産業と比べて居住期間が長くなっています。(表10-2)

表10-2 居住期間、産業(大分類)別15歳以上就業者の割合(平成22年)

(単位:%)

産業大分類	総数 1)	出生時 から	移動者の現住所での居住期間					
			移動者 総数	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
総数	100.0	4.1	94.3	7.6	22.1	19.3	23.4	21.9
A 農業, 林業	100.0	27.6	72.1	2.5	7.3	7.1	10.6	44.7
B 漁業	100.0	20.5	79.5	2.7	5.7	8.0	14.8	48.3
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	100.0	2.3	97.7	16.8	26.4	18.6	22.7	13.2
D 建設業	100.0	3.4	96.0	6.9	21.4	20.5	24.3	22.9
E 製造業	100.0	3.3	96.3	8.3	24.3	20.9	22.7	20.0
F 電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	4.0	95.5	7.2	21.3	22.1	26.3	18.7
G 情報通信業	100.0	3.4	96.3	10.6	29.9	22.4	20.7	12.7
H 運輸業, 郵便業	100.0	4.5	95.1	7.0	21.0	20.1	24.1	22.9
I 卸売業, 小売業	100.0	4.9	94.8	7.1	21.5	19.3	24.2	22.6
J 金融業, 保険業	100.0	3.5	96.3	7.4	23.3	21.3	26.0	18.2
K 不動産業, 物品賃貸業	100.0	6.3	93.4	5.6	18.3	16.2	21.0	32.2
L 学術研究, 専門・技術サービス業	100.0	3.0	96.6	8.5	24.0	19.6	23.0	21.5
M 宿泊業, 飲食サービス業	100.0	4.9	94.7	8.0	22.2	19.0	25.3	20.1
N 生活関連サービス業, 娯楽業	100.0	5.0	94.6	8.0	20.5	17.5	22.9	25.6
O 教育, 学習支援業	100.0	4.0	95.7	7.1	20.3	18.3	28.0	22.0
P 医療, 福祉	100.0	3.3	96.4	8.3	22.4	19.3	24.5	21.8
Q 複合サービス事業	100.0	7.8	92.0	6.1	21.0	20.0	24.1	20.9
R サービス業(他に分類されないもの)	100.0	4.1	95.5	6.1	19.9	18.4	23.6	27.6
S 公務(他に分類されるものを除く)	100.0	3.3	96.4	10.0	24.6	20.1	24.2	17.5
T 分類不能の産業 (再掲)	100.0	3.7	72.2	5.1	13.8	13.1	16.5	23.6
第1次産業(A, B)	100.0	27.3	72.4	2.5	7.2	7.1	10.7	44.8
第2次産業(C~E)	100.0	3.4	96.2	7.8	23.3	20.8	23.3	21.0
第3次産業(F~S)	100.0	4.2	95.5	7.7	22.4	19.5	24.0	21.9

1) 居住期間「不詳」を含む。

### 3 行政区別の居住期間

#### 都筑区では居住期間が5年未満の人の割合が高い

居住期間別人口を行政区別にみると、「移動者」のうち5年未満の割合が高い区は、都筑区（31.3%）で、以下、西区（29.8%）、港北区（28.44%）、青葉区（28.43%）、神奈川区（27.8%）と続いています。

一方、「移動者」のうち10年以上の割合が高い区は、旭区（50.0%）で、以下、泉区（49.2%）、港南区（48.5%）、金沢区（48.0%）、栄区（46.7%）と続いています。（表10-3）

表10-3 居住期間別人口の割合－横浜市・行政区・神奈川県・全国（平成22年）

(単位：%)

行政区	総数 1)	出生時から	移動者の現住所での居住期間					
			移動者 総数	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
横浜市	100.0	7.8	84.0	6.5	18.7	16.8	18.6	23.4
鶴見区	100.0	9.0	80.1	6.7	17.7	16.9	16.8	21.9
神奈川区	100.0	8.4	81.0	7.4	20.4	15.6	15.9	21.7
西区	100.0	9.0	77.9	7.5	22.2	15.6	13.5	19.0
中区	100.0	6.9	73.3	6.7	18.3	17.1	14.2	17.1
南区	100.0	8.5	82.2	6.2	16.3	15.3	18.3	26.0
港南区	100.0	7.3	87.2	5.9	16.5	16.2	19.4	29.1
保土ヶ谷区	100.0	8.2	83.7	5.7	17.0	15.0	20.1	25.8
旭区	100.0	7.7	86.6	5.4	16.2	15.1	20.1	29.9
磯子区	100.0	7.6	83.8	5.9	16.9	15.6	18.7	26.7
金沢区	100.0	7.7	86.9	5.6	17.0	16.3	19.9	28.1
港北区	100.0	7.6	81.8	7.9	20.6	16.4	17.4	19.6
緑区	100.0	7.6	85.5	6.7	19.6	18.0	19.7	21.6
青葉区	100.0	6.3	85.9	7.4	21.0	20.6	19.7	17.2
都筑区	100.0	7.2	83.8	7.4	23.9	19.2	21.7	11.6
戸塚区	100.0	8.0	87.4	6.4	19.5	16.8	19.0	25.6
栄区	100.0	7.4	88.6	5.8	17.5	18.6	16.7	30.1
泉区	100.0	8.3	87.3	5.6	16.9	15.6	21.5	27.7
瀬谷区	100.0	8.3	86.4	5.5	16.5	18.3	18.4	27.7
神奈川県	100.0	8.5	83.1	6.3	18.3	15.9	18.1	24.5
全国	100.0	12.1	81.7	6.0	16.7	13.4	16.6	29.0

1) 居住期間「不詳」を含む。